

令和6年4月～6月期地域産業経営動向調査の結果をとりまとめました

堺市と堺商工会議所では、堺市内の景気動向を把握するため、令和6年4月～6月期の地域産業経営動向調査を以下のとおり実施し、調査結果をとりまとめました。

1 調査対象 堺市内に所在する事業所 800社（回答企業 408社 回答率 51%）

2 調査期間 令和6年6月14日（金）～令和6年6月28日（金）

3 調査結果概要

今期（4月～6月期）の前年同期比を見ると、雇用人員DIは改善、業況判断DI、売上高DI、採算DI、資金繰りDIは悪化となった。

来期（7月～9月期）の予測は、業況判断DIが改善、売上高DI、採算DI、雇用人員DIがやや改善、資金繰りDIは横ばいとなっている。

数値の推移としては、全体的に前回調査よりも悪化、やや悪化の回答が多く、雇用人員DIは小売業以外全業種にて改善の回答となったものの、売上高DIは全業種で悪化、資金繰りDIでも悪化の回答が多い等、円安や人材確保に向けた賃上げ等の複合的な要因により企業のコスト負担が増加していると窺えるため、引き続き市内企業の動向を注視する必要がある。

○業況判断	前年同期比の指標は悪化（ $\Delta 12.7 \Rightarrow \Delta 17.2$ ） 来期見通しの指標は改善（ $\Delta 17.2 \Rightarrow \Delta 13.0$ ）
○売上高	前年同期比の指標は悪化（ $\Delta 4.6 \Rightarrow \Delta 14.2$ ） 来期見通しの指標はやや改善（ $\Delta 14.2 \Rightarrow \Delta 13.0$ ）
○採算	前年同期比の指標は悪化（ $\Delta 9.0 \Rightarrow \Delta 13.0$ ） 来期見通しの指標はやや改善（ $\Delta 13.0 \Rightarrow \Delta 11.0$ ）
○資金繰り	前年同期比の指標は悪化（ $6.8 \Rightarrow 3.2$ ） 来期見通しの指標は横ばい（ $3.2 \Rightarrow 2.5$ ）
○雇用人員	前年同期比の指標は改善（ $\Delta 5.4 \Rightarrow 1.0$ ） 来期見通しの指標はやや改善（ $1.0 \Rightarrow 3.4$ ）

問い合わせ先

担当課：産業振興局 産業戦略部 産業企画課
電話：072-228-7414
ファックス：072-228-8816

令和6年4月～6月期
地域産業経営動向調査
〔報告書〕

堺 市

〔 調査実施機関

堺商工会議所 〕

調査の概要

1. 調査目的 堺市管内事業所の経営動向の実態を四半期毎（3月期・6月期・9月期・12月期）に調査し、業況判断指数 DI 値等により景気動向を把握する。
2. 調査対象 堺商工会議所会員事業所 800 社（建設業 200 社・製造業 200 社・卸売業 100 社・小売業 100 社・サービス業 200 社）
3. 調査期間 令和 6 年 6 月 14 日（金）～令和 6 年 6 月 28 日（金）

4. 回収率	調査対象数	回収数	回収率	
	建設業	200 社	100 社	50.0%
	製造業	200 社	100 社	50.0%
	卸売業	100 社	54 社	54.0%
	小売業	100 社	52 社	52.0%
	サービス業	200 社	102 社	51.0%
	全産業	800 社	408 社	51.0%

【主要な表現について】

- 業況判断 … 調査対象企業が自らの業績に下した判断。
- DI 値 … 「好転」したとする企業割合から「悪化」したとする企業割合を差し引いた値。

【各項目別の DI 値の意味について】

- 業況判断 … DI 値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。
- 売上高 … DI 値がプラスなら「増加」を、マイナスなら「減少」を表す。
- 採算 … DI 値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。
⇒今期状況 … DI 値がプラスなら「黒字基調」を、マイナスなら「赤字基調」を表す。
- 資金繰り … DI 値がプラスなら「容易」を、マイナスなら「困難」を表す。
- 雇用人員 … DI 値がプラスなら「増加」を、マイナスなら「減少」を表す。
⇒今期状況 … DI 値がプラスなら「不足」を、マイナスなら「過剰」を表す。

調査結果の概観

今期(4月～6月期)の前年同期比を見ると、雇用人員DIは改善、業況判断DI、売上高DI、採算DI、資金繰りDIは悪化となった。

来期(7月～9月期)の予測については、業況判断DIが改善、売上高DI、採算DI、雇用人員DIがやや改善、資金繰りDIは横ばいとなっている。

数値の推移としては、全体的に前回調査よりも悪化、やや悪化の回答が多く、雇用人員DIは小売業以外全業種にて改善の回答となったものの、売上高DIは全業種で悪化、資金繰りDIでも悪化の回答が多い等、円安や人材確保に向けた賃上げ等の複合的な要因により企業のコスト負担が増加していると窺えるため、引き続き市内企業の動向については注視していく必要がある。

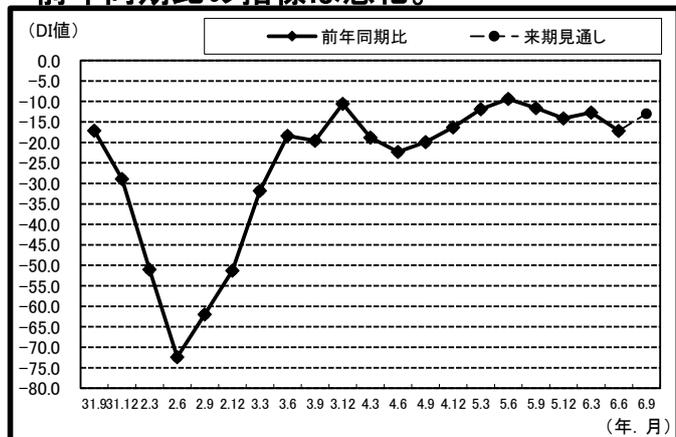
1. 業況判断の動向

・前年同期比の指標は悪化
($\Delta 12.7 \Rightarrow \Delta 17.2$)

・来期見通しの指標は改善と予測
($\Delta 17.2 \Rightarrow \Delta 13.0$)

・業種別に前年同期比の指標を見ると、製造業は改善、卸売業は横ばい、建設業、小売業は悪化、サービス業はやや悪化。

・前年同期比の指標は悪化。



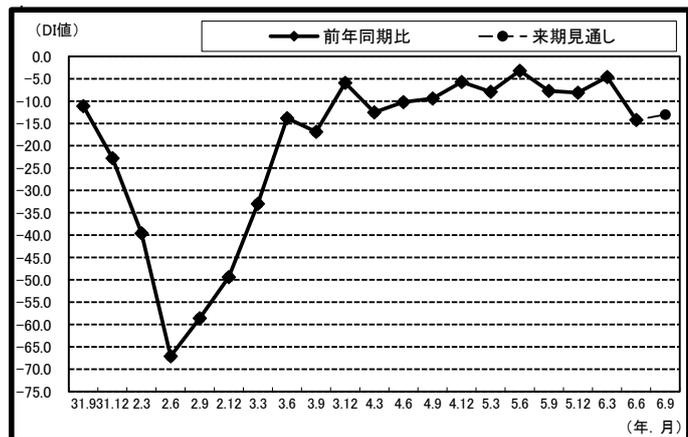
2. 売上高の動向

・前年同期比の指標は悪化
($\Delta 4.6 \Rightarrow \Delta 14.2$)

・来期見通しの指標はやや改善と予測
($\Delta 14.2 \Rightarrow \Delta 13.0$)

・業種別に前年同期比の指標を見ると、建設業、小売業、サービス業は悪化、製造業、卸売業は2期連続で悪化。

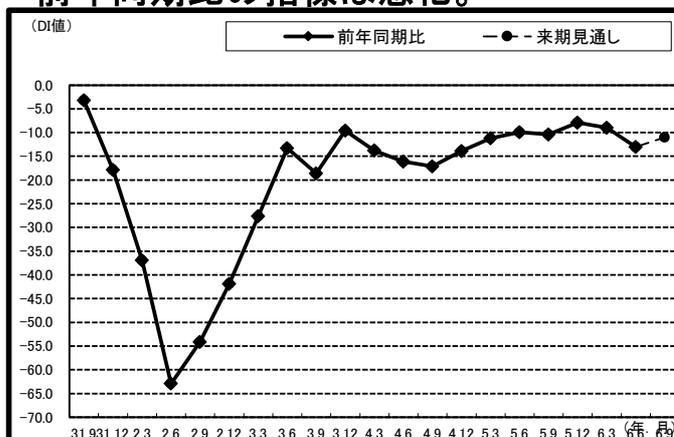
・前年同期比の指標は悪化。



3. 採算の動向

- ・前年同期比の指標は悪化
($\Delta 9.0 \Rightarrow \Delta 13.0$)
- ・来期見通しの指標はやや改善と予測
($\Delta 13.0 \Rightarrow \Delta 11.0$)
- ・業種別に前年同期比の指標を見ると、
製造業はやや改善、卸売業は横ばい、建設業、小売業、サービス業は悪化。

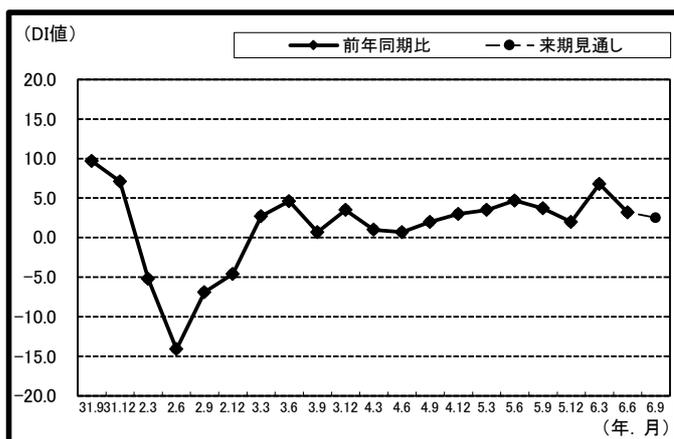
・前年同期比の指標は悪化。



4. 資金繰りの動向

- ・前年同期比の指標は悪化
($6.8 \Rightarrow 3.2$)
- ・来期見通しの指標は横ばいと予測
($3.2 \Rightarrow 2.5$)
- ・業種別に前年同期比の指標を見ると、
小売業は2期連続で改善、卸売業はやや悪化、建設業、製造業、サービス業は悪化。

・前年同期比の指標は悪化。



5. 雇用人員の動向

- ・前年同期比の指標は改善
($\Delta 5.4 \Rightarrow 1.0$)
- ・来期見通しの指標はやや改善と予測
($1.0 \Rightarrow 3.4$)
- ・業種別に前年同期比の指標を見ると、
建設業、製造業、卸売業、サービス業は改善、小売業はやや悪化。

・前年同期比の指標は改善。

